

# 研究業績一覧表

2016.12.26 現在

牧 兼充

## [学術論文]

- ・ Krishnan, V., **Maki, KM.**, Castillo, EM. and Guss, DA., " Service Design for Improved Satisfaction: Decoding the Mechanism for Impact of Patient Call Back in Emergency Healthcare", *Service Science* Vol. 7 Issue 4, 2015
- ・ 牧兼充、宮地恵美、樺澤哲、「大学発ベンチャー育成のためのメンタープラットフォームにおける同窓会ネットワーク活用に関する研究」、映像情報メディア学会誌 Vol.65, No.3、 pp. 395-402、2011年3月
- ・ 牧兼充、宮地恵美、樺澤哲、「地域イノベーションシステムにおけるネットワークの閉鎖性・構造的空隙を創出するビジネス・インキュベーション・プラットフォームの設計に関する研究 ～日本創生ビレッジをケース・スタディとして～」、情報社会学会誌 Vol.5, No.1 2010、 pp. 33-42、2010年6月
- ・ 牧兼充、山中雄次、「大学発ベンチャー企業の分類軸の確立をベースとした支援ネットワークのデザインの手法に関する研究」、ベンチャー学会「ベンチャーズレビュー」No.12、pp. 83-86、2008年3月
- ・ 牧兼充、「インキュベーション・プラットフォームにおけるグローバル型とローカル型のネットワークに関する考察—慶應義塾大学 SIVアントレプレナー・ラボラトリーの活動を事例に一」、ベンチャー学会「ベンチャーズレビュー」No.9、pp. 47-50、2006年9月
- ・ 牧兼充、「ビジネスプランコンテストをプラットフォームとしたインキュベーション手法に関する考察—SIVアントレプレナー・ラボラトリーにおけるコンテスト運営に基づいて—」、ベンチャー学会、「ベンチャーズレビュー」No.8、pp. 87-90、2006年3月
- ・ 牧兼充、「ベンチャー経営におけるネットワークを活用した遠隔取締役会に関する研究」、GLOCOM REVIEW September 2003、pp.17-50、2003年9月
- ・ 牧兼充、新井正樹、近藤大和、鈴木二正、山根健、「ThinkQuest' 98 参加者へのチュートリアルの実践」、教育システム情報学会 Vol.15 No.4 (特集号)、pp. 210-214、1999年1月

## [国際学会発表]

- ・ **Maki, KM.**, "Milestones to University-Based Startup Success: What is the Impact of Academic Inventor Involvement?", International Workshop "University-Industry Linkages and Innovation", February 2016
- ・ **Maki, KM.**, Krishnan, V. and Kenney, M., "The Key Success Factors of University Start-ups -Evidence From University of California", 2014 Babson College Entrepreneurship Research Conference (Accepted but not presented)

- ・ **Maki, KM.**, Krishnan, V. and Guss, DA., “The Impact of Post-Discharge Patient Call Back on Patient Satisfaction with the Emergency Department and Doctors and Nurses in Two Academic Emergency Departments”, Society for Academic Emergency Medicine 2014 Annual Meeting, May 2014 (Poster Session)
- ・ **Maki, KM.**, “The Impact of Technology Transfer Office on Knowledge Creation and Transfer: Evidence from a Natural Experiment in Japan”, Darden & Judge Entrepreneurship and Innovation Research Conference 2013, May 2013 (Poster Session)
- ・ **Maki, K.**, Miyachi, E. and Kabasawa, S., “The Architecture of Innovation System for the Commercialization of Science - The Incentive Structure for the Decisions of Financial Resource Allocation”, VIII Triple Helix Conference, October 2010
- ・ **Maki, K.**, Miyachi, E. and Kabasawa, S., “Designing the Incentive Structure for the Commercialization of Science -How to Bridge the Financial Gap between Science and Commercialization-”, IAMOT 2010, March 2010
- ・ **Maki, K.**, Miyachi, E. and Kabasawa, S., “Optimization of Financial Incentive Structure for the Commercialization of Science”, The 2nd ISPIM Innovation Symposium, December 2009
- ・ **Maki, K.**, “The Design and Implementation of Know How Licensing Scheme for Venture Incubation”, 2006 AUTM Annual Meeting, Mar. 2006

#### [国内学会発表]

- ・ 牧兼充、宮地恵美、樺澤哲、「地域イノベーションシステムにおけるネットワークの閉鎖性・構造的空隙を創出するビジネス・インキュベーション・プラットフォームの設計に関する研究 ～日本創生ビレッジをケース・スタディとして～」、情報社会学会 2010 年度年次研究発表大会、2010 年 6 月
- ・ 牧兼充、「大学発ベンチャー育成のためのエコシステムの創成と評価」、ビジネスモデル学会秋季大会 2008 年、2008 年 10 月
- ・ 牧兼充、「アントレプレナー育成を基盤とした大学発ベンチャー育成プラットフォームに関する研究」、ベンチャー学会第 9 回全国大会、2006 年 11 月
- ・ 牧兼充、「ネットワークを活用したインキュベーションプラットフォームにおけるグローバル性とローカル性に関する研究」、企業家研究フォーラム 2006 年度秋季研究会、2006 年 9 月
- ・ 牧兼充、「ベンチャーインキュベーションにおける知的財産のパブリックドメインとプライベートドメインに関する考察」、第 4 回日本知財学会学術研究発表会、2006 年 6 月
- ・ 牧兼充、「インキュベーション・プラットフォームのデザインにおけるアーキテクチャに関する考察」、産学連携学会第 4 回大会、2006 年 6 月
- ・ 牧兼充、「ビジネスプランコンテストをプラットフォームとしたインキュベーション手法に関する考察」、ベンチャー学会第 8 回全国大会、2005 年 10 月

- ・ 牧兼充、「学習支援のためのネットワークコラボレーションモデルに関する考察 ～慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部における ThinkQuest の実践～」、教育システム情報学会第 24 回全国大会予稿集、1999 年 8 月
- ・ 牧兼充、石橋啓一郎、「ユーザの視点に基づいたネットワークの性能評価に関する考察」、情報処理学会・分散システム運用技術研究会 98 年度第 3 回定例研究会予稿集、1998 年 9 月

#### [招待研究セミナー]

- ・ 「大学発ベンチャー企業の成功要因の分析 -カリフォルニア大学を事例に- Preliminary Results」、東北大学「企業と産業のイノベーションに関する研究会」、2016 年 12 月
- ・ “Milestones to University-Based Startup Success: What is the Impact of Team Composition?”, Waseda Organizational and Financial Economics Seminar, July 2016
- ・ “Milestones to University-Based Startup Success: What is the Impact of Academic Inventor Involvement?”, Hosei University, December 2015
- ・ “Milestones to University-Based Startup Success: What is the Impact of Academic Inventor Involvement?”, Stanford Silicon Valley New Japan Project Public Forum Series, December 2016
- ・ “Inventor Involvement in the Success of University-Based Startups”, Hitotsubashi University Institution of Innovation Research, October 2015
- ・ “Inventor Involvement in the Success of University-Based Startups”, University of Tokyo Policy Alternative Research Center, October 2015
- ・ “Inventor Involvement in the Success of University-Based Startups”, National Graduate Institute for Policy Studies and National Institute of Science and Technology Policy, October 2015
- ・ “Collaborative Innovation and Knowledge Creation –Evidence from a Natural Experiment in Japan”, Babson College, October 2014
- ・ “Collaborative Innovation and Knowledge Creation –Evidence from a Natural Experiment in Japan”, UCLA Anderson School - The Innovation and Creativity Workshop, April 2014
- ・ "The Impact of Technology Transfer Office: Evidence from Natural Experiment in Japan", 2014 American Association for the Advancement of Science (Session: "Are We Making the Best Use of Academic Knowledge in Innovation System?"), Feb. 2014
- ・ "Collaborative Innovation and Knowledge Creation –Evidence from a Natural Experiment in Japan", UC San Diego Global / Pacific / Visiting Scholar Lunch, Jan. 2014
- ・ "The Impact of Technology Transfer Office on Knowledge Creation and Transfer: Evidence from a Natural Experiment in Japan", Kobe University, Mar. 2013
- ・ "The Downside of Technology Transfer Office -Empirical Research on the Volume of University-Industry Technology Transfer (Preliminary Results), UC San Diego Japan Lunch, Oct.

2012

**[学術論文：査読中]**

- ・ **Maki, KM.** and Krishnan, V., "Improving the Productivity of University Technology Transfer Operations: Modeling and Empirical Testing with a Natural Experiment in Japan"

**[投稿準備中]**

- ・ “SBIR Awards for University-based Startups: Complements or Substitutes?” (working with Perkmann, M. and Kenney, M.)

**[進行中の研究]**

- ・ “The Role of Star Scientists in Japan – Effects of the Institutional Change -”

**[競争的資金]**

- ・ 科学研究費助成事業若手研究(B)「大学発ベンチャーの成功における発明者の関与に関する研究」(2016-2017)

**[研究プロジェクト・コーディネータ]**

- ・ 経済産業省補助事業：広域的新事業支援連携等事業費補助金（広域的新事業支援ネットワーク拠点重点強化学業）を獲得し、ネットワーク・リーダーとして従事。[平成 17 年度、平成 18 年度、平成 19 年度]

**[報告書・レポート等(日本)]**

- ・ 牧兼充、「産業育成政策とベンチャー「支援」ブーム」、政策空間 Vol.7、2003 年
- ・ 牧兼充、「大学発ベンチャーとは?」、OPEN 第 15 号、2003 年
- ・ 慶應義塾大学 SIVアントレプレナー・ラボラトリー Annual Report 編集責任者 [2005、2006、2007]
- ・ 慶應義塾大学 SFC Incubation Village 研究コンソーシアム報告書、編集責任者 [フェーズ 1～3、2003 年、2004 年、2005 年]
- ・ 牧兼充、「インターネット・コミュニケーションと中高生」、季刊こころの臨床 a・la・carte 第 16 巻、1997 年

**[特許(日本)]**

- ・ 特許「レシピ情報提供方法及びレシピ情報提供システム」(特願 2005-155233)について慶應義塾知的資産センターを通じて申請。
- ・ 特許「RFID タグ付属のゲーム用キャリアを用いた販売促進システム」(整理番号: P-C41111)について慶應義塾知的資産センターを通じて申請。

# 教育業績一覧表

2016.12.26 現在

牧 兼充

## [教育実績]

- ・ 政策研究大学院大学 “Science, Technology Policy and Entrepreneurship”担当 (2016 年度秋学期)
- ・ カリフォルニア大学サンディエゴ校経営大学院 “Innovation to Market A” (MGT121A) 担当 (2014 年夏学期、2015 年夏学期、2016 年夏学期)
- ・ 慶應義塾大学環境情報学部「大日本印刷株式会社寄付講座: アントレプレナー概論 2」担当 (2006 年度秋学期、2007 年度秋学期、2008 年度秋学期)
- ・ 慶應義塾大学環境情報学部「大日本印刷株式会社寄付講座: アントレプレナー概論 1」担当 (2006 年度春学期、2007 年度秋学期、2008 年度秋学期)
- ・ 湘南看護専門学校非常勤講師、「情報科学」 (2000 年度前期)

## [大学授業ゲストスピーカー(米国)]

- ・ カリフォルニア大学サンディエゴ校経営大学院「Lab to Market」(担当: Krishnan, V.)、「Idea Generation Methods Using Patents」、2015 年 4 月
- ・ カリフォルニア大学サンディエゴ校国際経営大学院「Business and Management in Japan」(担当: Schaede, U.)、「Entrepreneurship in Japan」、2014 年 11 月
- ・ カリフォルニア大学サンディエゴ校国際経営大学院「Business and Management in Japan」(担当: Schaede, U.)、「Entrepreneurship in Japan」、2013 年 11 月
- ・ カリフォルニア大学サンディエゴ校経営大学院「Innovation to Market A」(担当: Foit, D.)、「Competitive Analysis」、2013 年 11 月

## [大学授業ゲストスピーカー(日本)]

- ・ 千葉大学「高い教養を滋養する特論」、「グローバルキャリアのすすめ」、講師、2016 年 11 月
- ・ 早稲田ビジネススクール “Technology & Operations management”, 「Design Thinking」、講師、2016 年 7 月
- ・ 山梨大学「ベンチャー経営論」、「シリコンバレーとグローバル・キャリア」、講師、2016 年 7 月
- ・ 慶應義塾大学総合政策学部「鈴木寛研究会」(担当: 鈴木寛)、「What is Entrepreneurship?」「グローバルキャリアのすすめ」、講師、2014 年 12 月
- ・ 千葉商科大学商経学部「橋本隆子ゼミ」(担当: 橋本隆子)、「グローバルキャリアのすすめ」、講師、2012

年 12 月

- ・ 慶應義塾大学総合政策学部「知的財産権とビジネスモデル」(担当: 松倉秀実)、講師、2011 年 12 月
- ・ 九州大学 QREC、「What is Entrepreneurship?」、講師、2010 年 7 月
- ・ 立命館大学(担当: 樋原伸彦)、ビジネスプラン発表会コメンテーター、2010 年 7 月
- ・ 立命館大学 起業論(担当: 樺澤哲)、「What is Entrepreneurship?」、講師、2010 年 7 月
- ・ 慶應義塾大学大学院経営管理研究科ネットエコノミー戦略論 (担当: 岡田正大) (留学生対象・英語)、「What is Entrepreneurship?」、2009 年 10 月
- ・ 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 ネットエコノミー戦略論 (担当: 岡田正大)、「What is Entrepreneurship?」、2007 年 11 月
- ・ 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 ネットエコノミー戦略論 (担当: 岡田正大)、「What is Entrepreneurship?」、2006 年 11 月
- ・ 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 ネットエコノミー戦略論 (担当: 岡田正大)、「What is Entrepreneurship?」、2005 年 11 月
- ・ 大分大学経済学部 比較経営史 II (担当: 松尾純廣)、「アントレプレナーマインドとキャリア構築」、講演、2004 年 12 月

#### [ワークショップ運営等(日本)]

- ・ ドリームゲート「かばん持ちインターンシップ: 合宿」において全体プログラムデザインと講師を担当 (2005 年 9 月)

#### [教材作成(日本語)]

- ・ シェーデ・U、衣笠慧、田路則子、樋原伸彦、牧兼充、「Abwiz Bio 2015」、カリフォルニア大学サンディエゴ校&早稲田大学ビジネススクール、2015 年 3 月
- ・ 牧兼充、「ケース教材: SFC 知的財産マネジメント 2003 年 ~ネットワーク社会における公と私の結合空間としての大学~」、慶應義塾大学 SIV アントレプレナー・ラボラトリー、2006 年 1 月
- ・ 牧兼充、「ケース教材: SIV コンテスト運営 2005 年」、慶應義塾大学 SIV アントレプレナー・ラボラトリー、2005 年 12 月
- ・ 牧兼充他、「ThinkQuest '98 日本プログラム事務局」、「ThinkQuest '98 チュートリアルテキスト」、1999 年 1 月

#### [その他]

- ・ スタンフォード大学主催 REE USA 2007 Fellows Program Faculty Advisor (2007 年 8 月~10 月)

# 社会貢献活動業績一覧表

2016.12.26 現在

牧 兼充

## 【国際カンファレンス関連委員】

- ・ スタンフォード大学主催 REE ASIA 2007 Organizing Committee (2007年2月～6月)
- ・ The 3rd Asia Pacific Next Generation Camp NG Committee (2002年8月～2003年2月)

## 【政府関連委員】

- ・ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構研究評価委員会「研究開発型ベンチャー支援事業」(中間評価)制度評価分科会委員【平成28年度】
- ・ 経済産業省委託事業:「大学発ベンチャーに関する基礎調査」研究会委員【平成18年度、平成19年度、平成20年度】

## 【地方自治体関連委員】

- ・ 一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)アドバイザー【平成27年度、平成28年度】
- ・ 神奈川県「ITベンチャー企業育成・支援プログラム」選考委員【平成17年度、平成18年度、平成19年度】
- ・ 湘南新産業創出コンソーシアムコンテスト部会員(2004年6月～2008年3月)
- ・ 湘南新産業創出コンソーシアム運営委員会委員(2002年9月～2006年3月)
- ・ 藤沢市地域IT推進会議専門部会委員(2001年7月～2002年3月)

## 【大学関連委員】

- ・ 立命館大学拠点クラスター自立化検討委員会委員(2008年1月～3月)
- ・ 慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2007 実行委員会委員(2007年4月～11月)
- ・ 慶應義塾大学 SFC インキュベーション委員会委員(2005年4月～2008年3月)
- ・ 慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2002 実行委員会委員(2002年4月～11月)

## 【アドバイザー】

- ・ Global CONNECT Advisor(2011年5月～2015年9月)

### [カンファレンス招待]

- ・ 40th St. Gallen Symposium "Entrepreneurs - Agent of Change", May 6-7 2010, St. Gallen Switzerland
- ・ 7th Europe Asia Young Leaders Forum, September 4-7 2008, Seoul South Korea

### [講演(英語)]

- ・ Fifth Annual Global CONNECT Conference、 "Next Generation Incubators"、パネリスト、2007年12月
- ・ 2007 GlobalTiC、モデレーター、スピーカー、審査員、2007年7月
- ・ REE ASIA 2007、"In / Outreach Program"、セッションチェア、2007年6月
- ・ MIT 2007 Global Startup Workshop、"Panel: Collaboration Across Borders"、パネリスト、2007年3月
- ・ 2006 APEC Talentrepreneur Innovation & Collaboration Workshop、"Policy Report of Entrepreneurship in APEC"、Reporter、2006年8月
- ・ Third Annual Global CONNECT Conference、 "Panel on Best Practice in Entrepreneur Coaching Programs"、パネリスト、2005年12月
- ・ APEC-TIC Conference 2005、スピーカー、2005年8月
- ・ MIT 2005 Global Startup Workshop、"Panel: Social Entrepreneurship"、パネリスト、2005年3月
- ・ MIT 2005 Global Startup Workshop、"Panel: Optimal IT Solutions for Business Plan Competition"、パネリスト、2005年3月

### [講演(日本語)]

- ・ 第1回 MIS ワークショップ、「サンディエゴと日本橋のバイオメディカルのクラスター連携」、モデレーター、2016年12月
- ・ 第2回 California Scholars Forum、「科学技術とアントレプレナーシップ」、講演、2016年11月
- ・ KMD Forum、「第1回 KMD&CiP ビジネスコンテスト」、モデレーター、2016年11月
- ・ 情報産業三田会、「科学技術とアントレプレナーシップ」、講演、2016年9月
- ・ 千葉大学、「グローバルキャリアのすすめ」、講演、2016年9月
- ・ EJS 交流会、「サンディエゴから「大学改革」を通じて、日本のイノベーション・システムを再構築する!」、講演、2016年8月
- ・ ポート会、「ぼくが学生のころに知っておきたかったこと」、講演、2016年8月
- ・ リバネス講演会、「科学技術とアントレプレナーシップ」、講演、2016年7月
- ・ EJS 交流会、「中から見たサンディエゴ、外から見たサンディエゴ」、講演、2016年6月
- ・ CiP 協議会、「シリコンバレーを活用する!」、講演、2016年6月
- ・ 慶應義塾大学商学部、「シリコンバレーから慶應を観る」、講演、2016年3月



- ・ 九州大学 QREP2.0、「“New Argonauts” 的キャリアのすすめ」、講演、2016年2月
- ・ 横浜国立大学・横浜市立大学・宇都宮大学「ポストドクター・キャリア開発事業」、「グローバルキャリアのすすめ -ポストドク編-」、講演、2013年3月
- ・ 立命館大学 BKC 研究会、「日本のインキュベータのこれまあと未来」、スピーカー、2010年3月
- ・ 九州大学 2008年度アジアラウンドテーブル、「地域を活性化し世界との連携をリードする大学と起業家精神の役割 - 大学は地域に何が出来るか、何をしているか、国内外の事例から -」、パネリスト、2009年3月
- ・ 茨城大学理工学研究科 北関東4大学院先進創生情報学教育研究プログラム 4大学院 IT プログラム・IT ビジネスモデル講演会、「アントレプレナーシップ(起業家精神とは何か)」、講演、2009年2月
- ・ 第2回メンターフォーラム、「メンター制度の現状とそのデザイン手法 ~大学へのアンケート調査結果から~」、報告、2008年2月
- ・ 第1回メンターフォーラム、「大学におけるメンター制度の現状」、パネリスト、2007年11月
- ・ 岐阜マッシュアップアワード、パネルディスカッション「Mash up Award 受賞者による開発事例紹介と新サービスの可能性」、パネリスト、2007年11月
- ・ 産学官連携推進 DG (起業家教育)、「アントレプレナー育成を基盤とした大学発ベンチャーの創出」、スピーカー、2007年10月
- ・ 産学連携研究会、「アントレプレナー育成を基盤とした大学発ベンチャーの創出」、2007年4月
- ・ 九州大学 2006年度第5回アジアラウンドテーブル、「地域、大学におけるアントレプレナーシップ教育の意義」、パネリスト、2007年3月
- ・ TOKYO 起業家サミット 大挑戦者祭 2007、「「教育」 - 起業家が子供を変えて、世界を変える。アントレプレナー流子供教育・労働教育」、コーディネータ、2007年3月
- ・ 信州大学発ベンチャー大集合、「慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにおける大学発ベンチャー育成の取り組み」、2007年3月
- ・ ドリームゲート主催『大挑戦者祭 2006』、「人生を変えるアントレプレナーシップの育て方とは。」、コーディネータ、2006年3月
- ・ 夕学五十講、「ジェネレーション Y の起業家に聞く」、コーディネータ、2006年2月
- ・ SFC Open Research Forum 2005、「大学発ベンチャーの現状と今後の展望」、パネリスト、2005年11月
- ・ 知的財産マネジメント研究会産学連携分科会、「SIV ラボの目指す新事業創造」、講演、2005年5月
- ・ 第10回 NTVP ベンチャー・プライベート・カンファレンス、「SIV ラボの目指す新事業創造」、講演、2005年5月
- ・ K-TEC (Keio Technology and Entrepreneurship Club)において、講師役を数回担当 (2005年3月、5月、2006年1月)
- ・ 第9回 NTVP ベンチャー・プライベート・カンファレンス、「SFC 発のベンチャー育成を目指して~SFC Incubation Village 研究コンソーシアムの活動~」、講演、2004年12月

- ・ Internet Week 2004 「もっとインターネットを楽しむ・面白くする方法を考える BoF」、コーディネータ、2004年12月
- ・ SFC Open Research Forum 2004 「未来技術×ベンチャー-SFC から新産業を創出するために」、コーディネータ、2004年11月
- ・ 第7回 Next Generation Task Force 研究会「日本のインターネット、これまでの20年とこれから」、モデレータ、2004年4月
- ・ あいちベンチャーハウス ITベンチャーjumpアップフェア'04「ベンチャー起業のステップアップ法」、講演、2003年12月
- ・ Internet Week 2003 「もっとインターネットを楽しむ・面白くする方法を考える BoF」、コーディネータ、2003年12月
- ・ 第7回 NTVP ベンチャー・プライベート・カンファレンス「大学発ベンチャー企業の育成・支援と成功の条件」、パネリスト、2003年9月
- ・ 第7回 NTVP ベンチャー・プライベート・カンファレンス「ベンチャービジネスの立ち上げの現場と成功の条件」、コーディネータ、2003年9月
- ・ 慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部「ゆとりの時間」において、講師役を数回担当。(2002年10月、2006年6月、2007年5月)

#### [メディア掲載 (日本)]

- ・ 2009年11月発行、朝日新聞 My Town 東京、「リア充!?!@キャンパス 慶応大学」、コメント掲載
- ・ 2009年1月発行、朝日新聞 WEEKLY AERA、P33-36、「慶應「三田会」のウィンウィン人脈」
- ・ 2008年9月放映、NHK "What's on Japan、"ACCESS: Alliance with Academia Brings Business Opportunities"、スタジオコメンテーター
- ・ 2007年7月発行、VENTURE business library、「Incubator's Eye 大学発インキュベーション・プラットフォームの最先端形 慶應義塾大学 SIVアントレプレナー・ラボラトリー」
- ・ 2007年3月発行、信大 NOW 44号、特集「Venture 信州大学発ベンチャー 大学発ベンチャー支援ネットワークシンポジウムの開催」
- ・ 2007年1月発行、フジサンケイ ビジネスアイ、「『起業家に聞く 成功への道』(10)「異質、多様な交流が新事業を生む」」
- ・ 2006年7月発行、日経ビジネス『ASSOCIE』、「ベンチャー支援の新しいカタチが日本を変える」
- ・ 2006年4月発行、企業診断、「起業家教育現場レポート第4回 慶應義塾大学 SIVアントレプレナー・ラボラトリー事務局長牧兼充氏の起業家教育論」
- ・ 2005年7月発行、Club Unisys Magazine、P9、「ya ya!ユビキタスがやってくる大切なのは、ビジョンとグランドデザインです」
- ・ 2005年6月発行、朝日新聞(週刊) AERA、P52-53、「面倒見のいい大学 親泣かせの大学リスクな将来」

- ・ 2005年5月発行、PRINT ZOOM、株式会社日本印刷新聞社、P22-26、「本格化する大学発ベンチャー創出 シーズ、人材排出のメッカとなるか!?!」
- ・ 2005年4月10日テレビ神奈川「ニュース930」 「FACE IN」にてインタビュー。
- ・ 2004年11月9日日本経済産業新聞朝刊15面 「お店巡ればキャラも変身 ICタグ活用、ゲーム事業化 慶応大グループ」
- ・ 2004年10月20日 日本経済新聞夕刊16面 「ファミリー .. 学生起業、親も応援、ヤル気に共感、資金や相談も」
- ・ 2004年9月14日「変革する大学」シリーズ 慶應義塾大学 '04-'05 102~103 ページ 「SFCのベンチャー起業支援活動 SIV ベンチャーインキュベーションの成功モデルをつくりたい」
- ・ 2004年9月企業診断ニュース17~20 ページ 「慶應義塾大学 SFC キャンパスにおける創業ベンチャー支援」
- ・ 2004年7月神奈川新聞 「学園祭でビジネス 原価計算し収益確保 慶大 SFC 学生ら」
- ・ 7月1日日刊工業新聞「学生1日経営者 ビジネスモデル策定 起業マインド育む・SIV Tutorial 基礎コースの紹介」
- ・ 2003年10月6日日経エキスパート「慶応 SFC 出身者の起業ブーム、次の展開 SIV」